HTML TIPS & TRICKS

第 5 回

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザーの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザーの対応状況をアイコンで表している(4月10日現在)。これを参考に、使用するWWWブラウザーを選んでほしい。

インターネットエクスプローラ3.0以上

ネットスケープナビゲーター3.0以上

ネットスケープナビゲーター4.0 (Pre 3) 以上

誰よりも早く最新のHTMLを使ってみたい

インターネットエクスプローラ4.0の発表がうわさされるなか、ネットスケープコミュニケーターは早くもPre 3.0が登場している(CD-ROMに収録)。このバージョンでは、スタイルシートの表示もさらに安定したものになってきた。ますます可能性が広がるHTMLを120パーセント活用するために、今月も必ず役に立つTIPSとTRICKSを満載でお届けする。

5月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

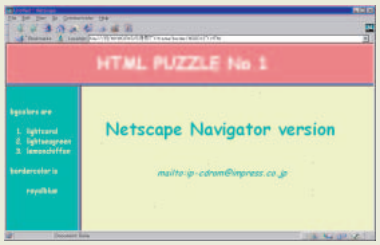
より多くの挑戦者に解答を送ってもらうために、先月のQUESTION 1は比較的簡単なものを用意した。その甲斐あってか、驚くほどのチャレンジャーがこのパズルに参加してくれた。本当に感謝している。それでは5月号“フレームを制する”の解答を発表しよう。

ANSWER 1 ナビゲーターの枠線に色を付けろ!

これは先月お約束したとおり、とても簡単だったはずだ。いくつか色名をあげておいたが、試してみれば一目瞭然だ。フレームの枠線の色は「royalblue」であることが分かる。さて、あとはこれをフレームの枠線の色名として指定するだけだ。これにはナビゲーター専用の拡張タグを使えばよい。このパズルは、このタグを知っているかどうかですべてが決まる。解答は次のようになる。

```
<FRAMESET BORDERCOLOR=royalblue BORDER=7>
```

ナビゲーターでフレームの枠線の色を変えるタグは、「BORDERCOLOR」と覚えておこう。



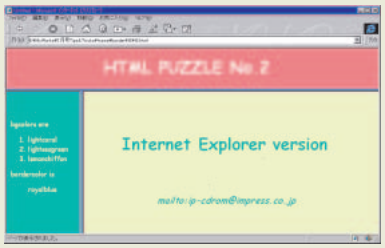
正解者の方々：Toyomi Okanoさん、Takashi Ishibashiさん、石橋隆さん、市川誠さん、Katunori SHIGETAさん、ほか

ANSWER 2 エクスプローラの枠線に色を付けろ!

こちらは、やはり難しかったようだ。「今月のこのコーナーのどこかにヒントが隠されている」とあったためか、多くのチャレンジャーは「フレームの枠線を消す」で紹介した方法を使ったようだ。しかし、これでは右図のような立体的な枠線はできない。本当のヒントは同じページの「ナビゲーターでは、<FRAME>タグを使う場合は<BODY>タグは使わない」の部分にあった。エクスプローラでは<BODY>タグが使えるのだ。解答は次のようになる。

```
<BODY BGCOLOR=royalblue>
<FRAMESET FRAMESPACING=5>
```

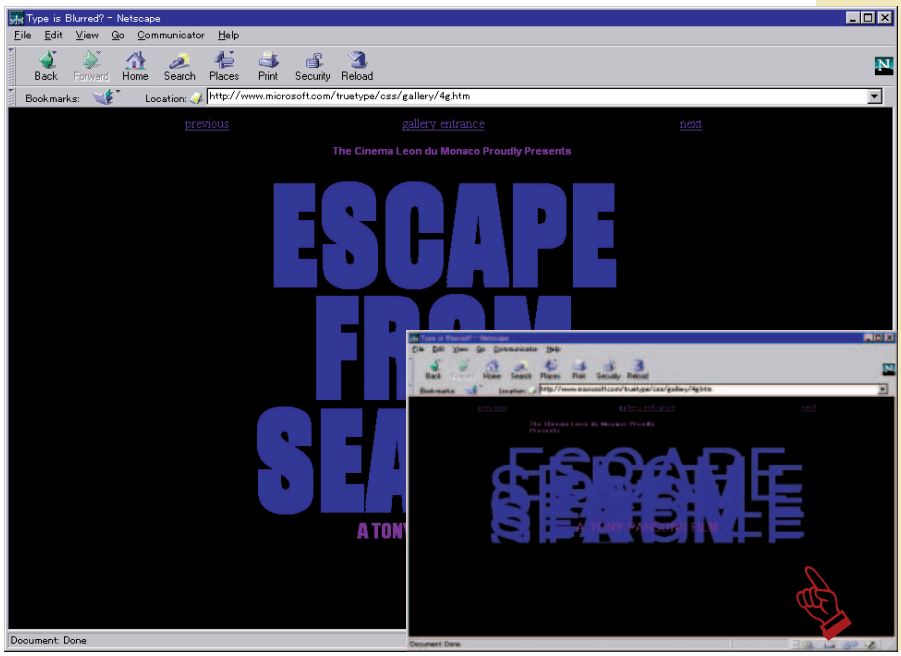
フレーム定義の前に、<BODY>タグで「BGCOLOR」として指定した色が、フレームの枠線の色になるのだ。さらに、枠線をナビゲーターの場合と同じ太さにするために、エクスプローラでは「FRAMESPACING」を使う。これで完璧だ。



正解者の方々：奥寛浩さん、齊藤守さん、しらはたしんさん、中野達也さん、ほか

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

表示する言語を自動設定する



URL http://www.microsoft.com/truetype/css/gallery/4g.htm

先月お知らせしたように、ナビゲーターでもスタイルシートが使えるようになった。そこで、左の図を見てほしい。ここでは、スタイルシートで文字を重ねて輪郭をぼかしている。ところが、手前の図では無残にもデザインがくずれてしまっている。実は、ナビゲーターでは言語を「欧文（Latin1）」にしておかないと、スタイルシートを使ったページを正しく表示できないことがあるのだ。それなら、普段は「日本語／自動判別」にしているユーザーの言語設定を、「欧文（Latin1）」に切り替える仕掛けを作ればいいはずだ。それでは、これを実現するうれしいTIPSを紹介しよう。

```
<META HTTP-EQUIV="CONTENT-TYPE"
CONTENT="text/html;CHARSET=iso-8859-1">
```

POINT

ページを表示させる際に、ユーザーが使っているWWWブラウザーの言語設定を切り替える。このTIPSは、スタイルシートを使う場合だけでなく、さまざまな場面で役に立つはずだ。それでは内容を見てみよう。

```
<META HTTP-EQUIV="CONTENT-TYPE"
CONTENT="text/html;CHARSET=iso-8859-1">
```

<META>タグは<HEAD> </HEAD>の間に記述することで、さまざまな情報を付加できる。通常は、ページの作成日や作者など、直接ページの内容には反映されない情報を記することが多い。ここでは、ページの言語情報を記述したわけだ。ポイントは「CHARSET=iso-8859-1」の部分で、ここで言語設定が「欧文（Latin1）」になるように指定している。

ここで指定できる言語は、WWWブラウザーのオプションメニューにある項目とは若干呼び名が異なっているが、上記の「iso-8859-1」または、「us-ascii」を指定すればWWWブラウザーで「欧文（Latain1）」を選んだ場合とほぼ同様の結果になる。先にも述べたように、このTIPSは、スタイルシートを使う場合以外にもいろいろと用途があるはずだ。たとえば、ページに全角スペースを使っている場合には、「欧文（Latin1）」にすると文字化けを起こしてしまう。また、同じ日本語でも、「EUC」や「Shift-JIS」などの文字コードを使用しているページでは、設定が違っていると、同様に文字化けを起こしてしまう。このような場合は、ページ作者がこのTIPSの1行を加えておけば、ユーザーは言語設定のことを考えずに、いつでも正しい情報を得られるのだ。

◆◆◆

さまざまな言語の指定

日本語（自動判別）
CHARSET=iso-2022-jp

日本語Shift-JIS
CHARSET=x-sjis

日本語EUC
CHARSET=x-euc-jp

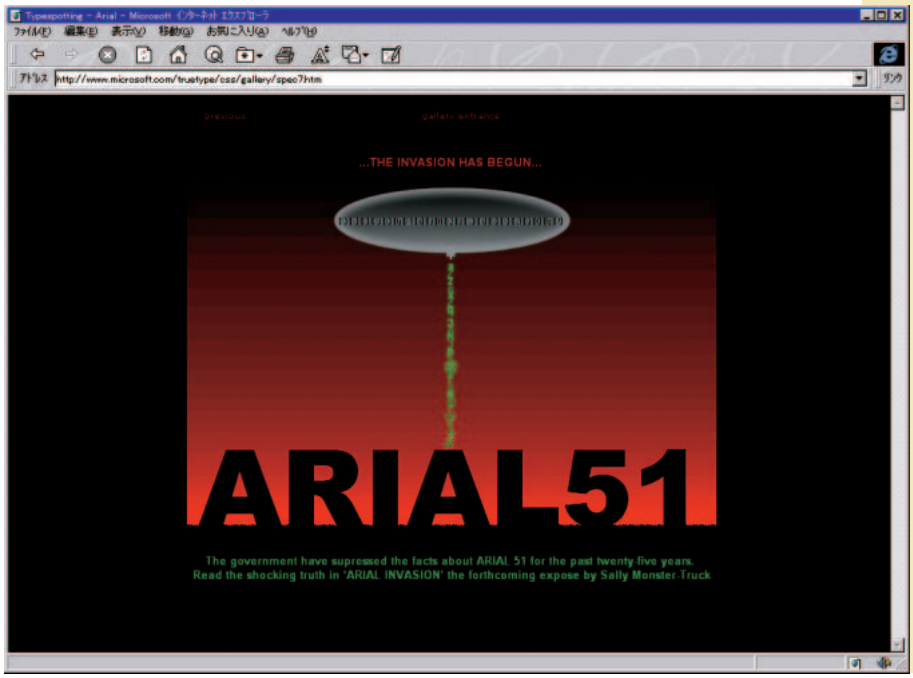
韓国語（自動判別）
CHARSET=iso-2022-kr

中国語Big5
CHARSET=big5

中央ヨーロッパ言語
CHARSET=iso-8859-2

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

さらに複雑なスタイル設定をする



URL http://www.microsoft.com/truetype/css/gallery/spec7.htm

これまで、何度となくスタイルシートを取り上げてきたが、どれも「ワンポイント」的に使うものが多かった。それでは、左の図を見てほしい。スタイルシートを駆使すれば、こんなきれいなページが作れてしまうのだ。さて、このページにはなんと11種類のスタイルが定義されている。これだけのデザインとなると、ワンポイントではなく、ページ全体をスタイルシートで定義する必要があり、自然と定義の数も増えていくのだ。そこで、今月の第2弾として、1つのページに制限なしにいくつでもスタイル指定ができる便利なTIPSを紹介しよう。ページのレイアウトをスタイルシートだけで行う日は近いぞ。

1

```
<STYLE TYPE="text/css">

.shadow1 { color: aliceblue;
font-size: 70; font-weight: bold;
font-family: Bookman Old Style; }
.shadow2 { color: lightcyan;
margin-top: -50; margin-left: 15;
font-size: 70; font-weight: bold;
font-family: Bookman Old Style; }

</STYLE>
```

2

```
<DIV CLASS=shadow1>
HTML TIPS & TRICKS </DIV>

<DIV CLASS=shadow2>
HTML TIPS & TRICKS </DIV>
```

Point

スタイルシートの設定方法として、よく使うタグの内容をカスタマイズするやり方がある。この場合は、定義するタグが「H1」なら、

```
H1 { color: red }
```

と記述する。しかし、この方法は何十種類もの定義をする場合にはあまり向いていない。そこで上記のタグ❶を見てみよう。これは<HEAD> </HEAD>の間に記述しておく。

```
.shadow1 { color: aliceblue;
font-size: 70; font-weight: bold;
font-family: Bookman Old Style; }
```

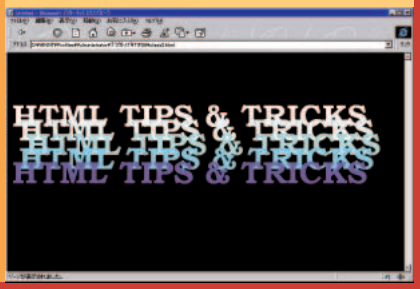
{ }の中はH1の場合とまったく同じだが、ポイントは「.shadow1」の部分にある。このように、ピリオドに続けて自由にスタイル名を付けられるのだ。こうしておけば、無制限にいくつでもスタイルを設定できるわけだ。これを本文に反映させるためには、❷のタグを使えばよい。

```
<DIV CLASS=shadow1>
HTML TIPS & TRICKS </DIV>
```

「DIV CLASS=」に続けて、先ほどのスタイル名からピリオドを取ったものを記入する。これで<DIV> </DIV>の間の文字列にスタイルが反映されることになる。また、改行の入らない1行の文字列の一部分だけに別のスタイル指定をしたい場合は、<DIV>の代わりに<SPAN>を使って、<SPAN CLASS=shadow1>とすればよい。これで、ワープロを使ってスタイル設定をするのと同じ感覚でページのデザインができるはずだ。

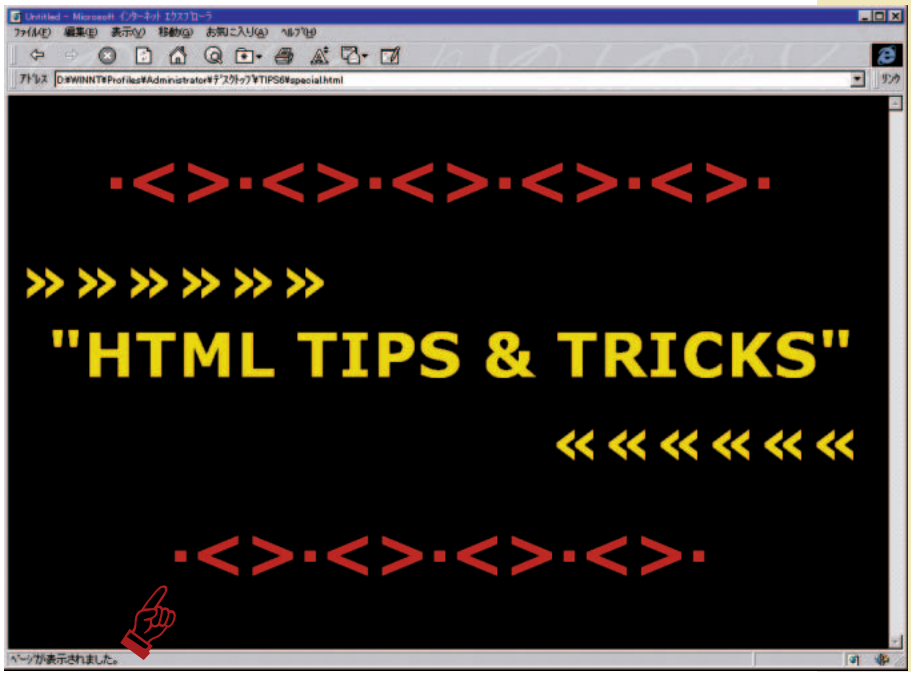
こんなときは便利だ

下図では、色とマージンが少しずつ異なる文字を5種類使用している。つまり、5種類のスタイル指定が必要になるわけだ。このような場合も、「shadow1」から「shadow5」など、分かりやすい名前を付けてスタイルを設定しておけば、ページの記述がとても楽になる。



インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

特殊文字にスタイル指定する



まずは、左の図を見てほしい。ページ上下に模様のような線があり、文字のまわりにも飾りがほどこされている。以前にもこのコーナーでは、Wingdingsという絵文字のようなフォントを使って特殊なグラフィック効果を出すTIPSを紹介したが、ここで使っているような模様はなかったはずだ。タネを明かすと、これは特殊文字を表すためのHTMLを使用しているのだ。普段は記憶の片隅に追いやられているような影の薄い特殊文字も、こうやってスタイルシートと組み合わせることで、思わぬ効果が出せる。それでは、言われてみれば「なるほど」と思う、コロンブスの卵のようなTIPSを紹介しよう。

❶

```
<STYLE TYPE="text/css">

H1 { color: gold;
font-size: 70; font-weight: bold;
font-family: Verdana; }
H2 { color: firebrick ;
font-size: 70; font-weight: bold;
font-family: Verdana; }

</STYLE>
```

❷

```
<H1>

&#183;&lt;&gt;&#183;&lt;&gt;&#183;&lt;&gt;

</H1>
```

Point

このTIPSのポイントは、そのまま使ってもつまらない特殊記号に、スタイルシートを使ってフォントや色の指定をするというところにある。実際に試してみれば分かるが、特殊記号にもフォント指定が可能なのだ。ただし、©や™など、例外もあるので注意しよう。まず、いつものように、❶のタグを<HEAD>　</HEAD>の間に記述して、スタイル定義をする。ここでは、ナビゲーターとエクスプローラのどちらでも使えるように、タグをカスタマイズする方法を使っている。

```
H1 { color: gold;
font-size: 70; font-weight: bold;
font-family: Verdana; }
```

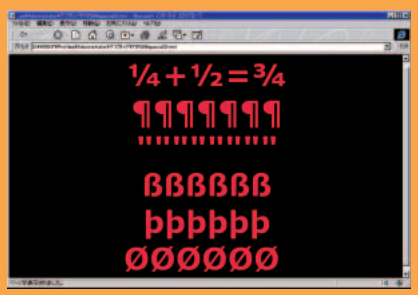
これで、H1でかこまれた文字は色がgoldに、フォントサイズが70ピクセルに、書体が太字に、フォントの種類がVernadaになる。これを使ってタグ❷では、

```
<H1>
&#183;&lt;&gt;&#183;&lt;&gt;&#183;&lt;&gt;
</H1>
```

と記述している。「·」は「・」を、「<」は「<」を、「>」は「>」をそれぞれ表すから、結果として上図のような模様が表示されるのだ。次の文字のまわりの飾りは、

```
<H2>
&#187;&#187;&#187;&#187;&#187;&#187;
</H2>
```

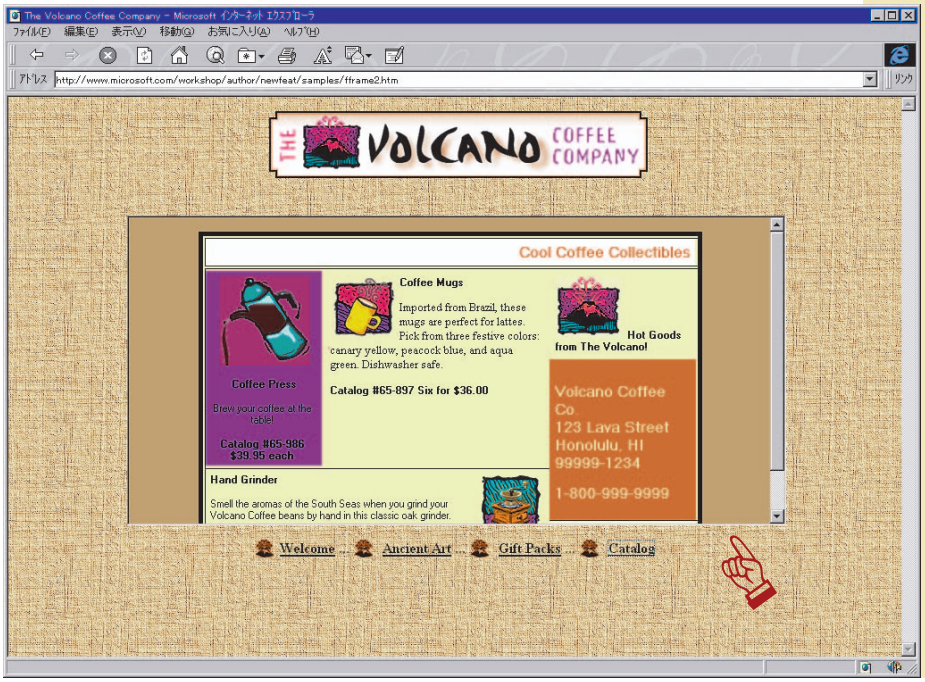
と記述すればできあがりだ。「»」は「<<」という二重のかっこを表す。このほかにも、アスキーアートのように特殊文字をいろいろと組み合わせてフォントの種類を変えてみると、予想もしていなかった模様ができあがる。これは、使い始めると結構はまってしまうのだ。



ほかにも使えそうな特殊記号はたくさんあるぞ

©1994-2007 Impress R&D

フローティングフレームを使う



URL http://www.microsoft.com/workshop/author/newfeat/samples/fframe2.htm

この号が発売される頃には、インターネットエクスプローラ4.0が入手可能になっているはずだ。このバージョンでは、デスクトップの壁紙の一部にウェブページのコンテンツが表示できるようになる。そこで、左の図を見てほしい。ページの真ん中が窓のようにぽっかり空いていて、この中に別のページが表示されている。さらに、下部のリンクをクリックすると、この窓の中身だけが次々と切り替わる。実はエクスプローラ4.0でもこれと同じ仕掛けを使って、デスクトップにウェブページを表示させるのだ。それでは、これから使う機会がぐんとふえそうな、今月最後のCoolなTIPSを紹介しよう。

1

```
<IFRAME WIDTH=75% HEIGHT=55% NAME=frame SRC="page1.htm">

<FRAME WIDTH=75% HEIGHT=55% NAME=frame SRC="page1.htm">

</IFRAME>
```

2

```
<A TARGET="frame" HREF="page2.htm">
Page2
</A>
```

Point

この不思議なHTMLは「フローティングフレーム」と呼ばれる。通常のフレームがそれぞれのページを枠線で区切って表示するのに対して、フローティングフレームは、1枚のページの中に「額縁」のような窓を作ってほかのページを表示する。さらに、非常にシンプルなHTMLで作成できるので、手軽に使える。それでは内容を見てみよう。

```
<IFRAME WIDTH=75% HEIGHT=55%
NAME=frame SRC="page1.htm">

<FRAME WIDTH=75% HEIGHT=55%
NAME=frame SRC="page1.htm">

</IFRAME>
```

タグの構成は<IFRAME>、<FRAME>、</IFRAME>という3つの部分からなる。<IFRAME>と<FRAME>はまったく同じ内容になる。まず、「WIDTH」と「HEIGHT」でフローティングフレーム自体の大きさを決める。ここでは、ウィンドウ全体の大きさに対する割合をパーセントで表しているが、「WIDTH=200」のようにピクセルで指定することもできる。次の「NAME」は、このフローティングフレームの名前を表す。表示させるページを切り替える場合にこの名前が必要になってくる。最後の「SRC」の値は、表示させるページのファイル名が入る。もちろんURLを記入して、ほかのサイトのページを表示させることもできる。これで、「page1.htm」を表示するフローティングフレームができあがったわけだ。さて、❷のタグを見てみよう。

```
<A TARGET="frame" HREF="page2.htm">
Page2
</A>
```

これによって、フローティングフレームの中に表示されるページを切り替えることができる。ポイントは「TARGET」の値を、先ほどの「NAME」の値と同じにしておくということだ。これでページには「Page2」というリンクが表示される。そして、これをクリックすると、フローティングフレームの中身が「page1.htm」から「page2.htm」に切り替わるのだ。この中身にあたるページを作成する際に忘れてはならないのが、マージン設定だ。必ず、<BODY TOPMARGIN=0 LEFTMARGIN=0>の記述を入れておこう。これでフローティングフレームの作成も自由自在だ。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！

今月のテーマ

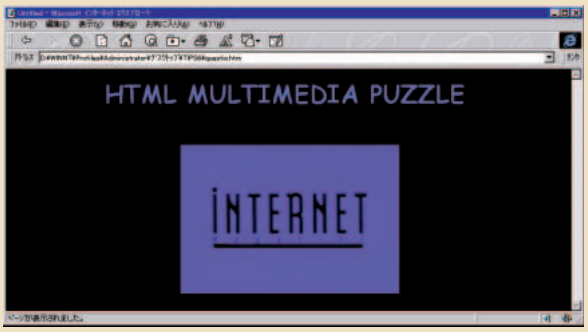
・マルチメディアを制する・

最近では、ホームページでビデオや音声を流すといったことは、それほど珍しくはなくなった。とは言うものの、ビデオの再生1つとっても、ただ流すだけではつまらない。これにさまざまな動作を設定することで、もっと面白い効果が出せるのだ。そこで今月のこのコーナーでは、AVIを使ったビデオの再生に挑戦していただく。先月のパズルでは、新たなチャンレンジャーが多く生まれた。今月も更なる新挑戦者が現れることを期待している。トリックが分かったらすぐに解答を送ってきてほしい。正解者にはダイレクトプラスを発行させていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“マルチメディアを制する”にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」
宛　先

正解が分かった人も、分からなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず
HTML TIPS＆TRICKS
の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

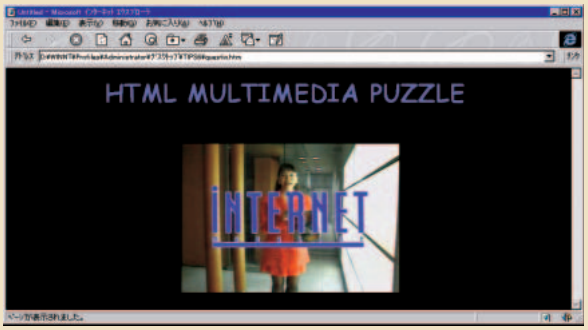
ip-cdrom@impress.co.jp



QUESTION 1
マウスを載せたらON AIR！

今月は、AVIビデオをさまざまな条件でページに埋め込むという問題を3問用意した。まず、左図のようにAVIファイルをページにインラインで表示させてほしい。ただし、今回はActiveXコントロールを<OBJECT>タグで埋め込む方法は使わないことにする。ここまでできたら、ユーザーがこの画面の上にマウスを載せただけでビデオが再生されるように設定してほしい。

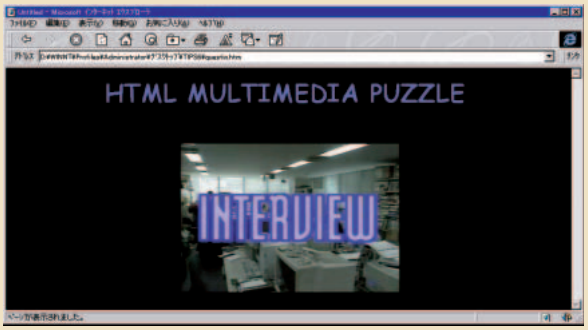
ヒント　マウス＝mouse、載せるは？



QUESTION 2
5回だけループさせろ！

AVIビデオといっても、3秒から5秒程度の短いものは、動くアイコンやバナーといったGIFアニメーションの代わりに使うと面白い。そうなると、一度再生しただけではつまらない。効果に応じて、自由に再生回数を設定したいところだ。そこで2問目だが、このビデオ画面をクリックすると、5回だけ繰り返して再生されるように設定してほしい。

ヒント　繰り返し＝loop



QUESTION 3
5秒おきに3回再生させろ！

さて、3問目はさらに細かい条件を付けてみよう。繰り返しの回数は3回。ただし、それぞれの再生が1回終わったら、5秒間のインターバルが入るようにする。つまり、「再生→終了→5秒間のインターバル→再生」となればいいわけだ。ここまでできれば、マルチメディアは自由自在に操れるぞ。今月も多くの挑戦があることを期待している。健闘を祈る！

ヒント　秒数はミリセコンド単位で……

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.